

議会だより

あやがわ



「主基斎田お田植まつり102」での斎田踊り（6月18日）

定例会	2~3P
委員会報告	4~7P
8議員の一般質問	8~15P
お田植えまつり	16P

2017

NO. 45

平成29年7月21日

6月定例会

滝宮小学校調理場 ドライ化改修工事に7992万円

6月定例会を6月12日から16日の会期で開催した。

提案された議案2件と(株)綾南プラザ決算等の報告4件について提案理由の説明がなされ、関係常任委員会に議案を付託した。また、一般質問には8議員が登壇した。

13、14日に各常任委員会を開催し、付託された議案を審議した。16日には本会議を再開し、各常任委員会からの報告を行い、原案どおり可決し閉会した。

工事請負契約の締結

●滝宮小学校調理場ドライ化改修工事

契約金額

7992万円（消費税込）

契約者

富士建設(株)

代表取締役 真鍋 雅彦

工期

平成29年6月16日

～平成29年10月31日

※工事監理業務は(有)アキ建築設計事務所に委託

物品売買契約の締結

●滝宮小学校調理場厨房機器購入事業

契約金額

2754万円（消費税込）

契約者

四国厨房器製造(株)

代表取締役 片岡 敦子

工期

平成29年6月16日

～平成29年10月31日



ドライ化改修予定の給食調理場（滝宮小学校）

臨時会（5月10日）

工事請負契約の締結

●平成29年度 綾川町移住・定住促進住宅改修工事

契約金額

2億5272万円

（消費税込）

契約者

坂出土建工業(株)

代表取締役 綾 あや 崇平 そうへい

工期

平成29年5月10日

～平成30年3月23日



改修中の移住・定住促進住宅（サン・コーポラスあやかみ）

固定資産評価審査委員会
委員の選任同意

委員から退任届けが提出されたため、新たに委員の選任に同意した。

任期

平成29年5月11日～

平成30年5月10日

井上 英俊 氏 (65歳)
綾川町滝宮1268番地



※前号(44号)の掲載内容に誤りがありました。
6ページ1段目

「誤」
社会教育費として、旧綾南地区4館の各公民館にWiFi設備導入。

「正」
社会教育費として、西分南部公民館を除く町内全ての公民館にWiFi設備導入。

謹んでお詫びし、訂正します。

臨時会 (5月10日)

■全会一致の議案

議案の内容	議決結果
町長の専決処分事項の報告 (綾川町税条例の一部を改正する条例)	原案可決
町長の専決処分事項の報告 (綾川町過疎地域における町税の特別措置条例の一部を改正する条例)	〃
町長の専決処分事項の報告 (綾川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	〃
固定資産評価審査委員会委員選任同意	〃
工事請負契約の締結	〃

6月定例会

■全会一致の議案

議案の内容	議決結果
工事請負契約の締結	原案可決
物品売買契約の締結	〃

追跡

あの質問、あれからどなんなっとんな？

問 保育所の延長保育が午後7時までの対し、小学校の放課後児童クラブは午後6時までとなっており、利便性が悪い。放課後児童クラブの時間延長を。

答 支援員の確保や体制整備、また保護者負担等、検討課題はあるが、平成29年度実施に向け検討する。
(平成28年12月定例会)

その後

平成29年4月より、利用が必要な子どもについては、午後6時30分まで延長利用できるようになった。



放課後児童クラブ (なかよし学級) で放課後を過ごす子どもたち

総務委員会

繰越明許費繰越計算書

●高松市危機管理センター整備に伴う消防指令システムの更新事業
事業費3332万3千円

●滝宮小学校体育館天井改修事業
事業費2470万円
工事は、8月末日。

※繰越明許費とは、年度内に支出が完了しない事業を議決を得て、予算を翌年度に繰越したものの。

綾川町町営バス運送事業特別会計予算

問 路線を見直すときには、利用者のアンケートをお願いしたい。

答 今後は、アンケートの検討を行う。

また、委託先の窓口にも意見が寄せられており、これらを参考に検討していく。

問 運転免許証自主返納者は交通手段がなくなる。電動アシスト付自転車の購入補助金を検討してはどうか。

答 民間店舗での利用料金の割引サービスも実施しており、今後多方面から検討していく。

平成28年度 綾川町教育委員会評価

教育に関する事務の管理、執行状況の点検等を行った。

問 評価委員の構成は。また、評価委員5名では少ないのでは。

答 教師経験者、公民館活動経験者、PTA経験者等である。全体的な視点で評価している。

問 食育関連について、地産地消の対策は。

答 おいでまい等県内産を中心に購入している。

問 全国学力テスト等の結果を評価に加えているのか。

答 全国学力テストの調査結果を加える予定はない。

綾川町ふるさと納税

平成29年3月、リニューアルを行った。新しい点は、ふるさとチョイス（ポータルサイト）にて掲載をスタートした点と、クレジットカードでの決済が可能になった点である。また、返礼品の種類等を増やし、還元率も上げた。

問 今回の実績は、想定を上回っているのか。また、今後の返礼品等の充実等、どのようにしていくのか。

答 実績は、想定を若干下回っている。引き続き、返礼品の開発や協力事業者の募集等に努める。

問 減収となる寄附金控除額はぐくぐくになるか。

答 平成28年は、経過報告として、約750万円。

問 ふるさと納税の寄附金や使途は、どのように公表するのか。

答 ホームページや広報紙を活用して実績を公表する。

綾川町空き家実態調査

想定空き家特定により抽出した1235戸、及びその他空き家と思われる家屋について現地調査を実施した。

本町内の空き家は479戸であり、空き家率は45%である。そのうち374戸については、修繕に大掛かりな費用をかけるに活用できると考える。

総住宅戸数	空き家	空き家等(危険建築物)	危険家屋	危険建築物	計
10,612	479	28	1	1	509



草木生い茂る空き家

問 12月に空き家対策計画ができるようだが、それまでの対応は。

答 相談があれば総務課で対応する。

問 不動産の相続手続きができていない場合、空き家対策納税、土地活用等、将来的にさまざまな問題が発生するのでは。

答 不動産を所有している人が死亡した場合、暫定的に「相続人代表者指定届」を提出してもらい課税を行っている。

問 相続人代表者等に相続の手続き、登記のお願い等の啓発文書を同封しては。

答 運用上検討する。継続してホームページ及び広報紙で啓発していく。

問 固定資産税納付書の封書に、相続の手続き及び建物登記に関する文書を同封してはどうか。

答 検討していきたい。

問 建物を取壊して更地にする、税金が大幅に増えるのはなぜ。

答 小規模住宅用地及び一般住宅用地において、課税標準額の特例措置の適用が無くなるためである。

●綾川町シティブロモーション戦略

問 プラタモリの反響は現在も続いているか。また、今後も継続的に発信していくのか。

答 話題をプロモーションに結びつけ、観光協会などとも連携していきたい。

問 防災行政無線の放送内容の見直し、また他の広報手段の拡充を求める。

答 必要な放送は残していく。SNS等の他の広報手段の導入も検討していく。

問 高齢者の交通事故が多く、運転免許証の自主返納が進められている。町内に、デマンドタクシーが行き届いていない地域があるが、拡大を。

答 デマンドタクシーについては実態を踏まえて、検討していきたい。

問 学校以外のトイレの洋式化をどのように考えているか。

答 建物の新築や改修時に合わせて実施していく。

問 綾川町の行政、議会のホームページの今後の考え方

答 今後、対応できるシステムの導入を検討していきたい

厚生委員会

繰越明許費繰越計算書

●総務費の戸籍住民基本台帳費で、マイナンバーカード作成に係る業務委託料。

●衛生費の清掃費で、高松市かわなべ温水プール天井等改修事業においての綾川町分の負担金。

●民生費の社会福祉費で、臨時福祉給付金等給付事業（経済対策分）。5月末現在の申請状況は、申請受付件数2929件であり、申請率は80・8%。

●民生費の児童福祉費で、滝宮認定こども園（仮称）整備事業で、用地取得費及び業務委託費。

問 臨時福祉給付金の未申請者に対する対応は考えているのか。

答 7月の町広報誌で再度周知する予定である。

問 マイナンバーカードの発行枚数及び交付事業の費用、また、個人番号通知カードの未受領の件数は、どれくらいあるのか。

答 マイナンバーカードの発行枚数は1647枚、費用は平成29年度執行予定も含めて1500万円余りである。また、未受領の件数は84件である。

陶病院

公立病院改革プランについては、対象期間を平成28



陶病院

年度から平成32年度の5年間とし、安定した経営を継続しながら地域医療の中核を担っていくために、取り組むべき目標や課題を策定したものの。

問 単に国や県の医療構想に追随するのではなく、地域医療を守るといった視点が必要ではないか。

答 良質な医療を継続的に提供していくためにも、地域の実情や要望を十分に考慮しながら、安定した経営に努力していく。

要望 住み慣れた地域で安心して医療を受けるために、医師やスタッフの笑顔や丁寧な対応をお願いしたい。

西分保育所の施設利用

仮契約を締結した者より、6月1日に辞退願いが提出された。今後の予定として、地元説明を行い、施設利用について再検討していく。

問 施設の利活用については、再度、地元住民及び各関係団体の意見を聞きながら進めるべきでないか。

答 地元での利用についても意見を伺い、また、内容についても再検討をしながら進めていく。

要望 地元説明後、その内容及び今後の利用者選定について、協議会で報告いただきたい。

国民健康保険都道府県単位に係る意見書採択を求める陳情書

他市町の取り扱い状況、単位化にかかる現状報告を受けた後、本委員会での意見書の採択の可否についての審議依頼があった。

審議 他市町の状況及び現状報告等を考慮すれば、今回の意見書採択は不可とすべきとの意見があり、委員全員異議なく同意した。

綾川斎苑やすらぎの丘

平成30年3月末で、現在の指定管理者の指定期間が満了することに伴い、平成



綾川斎苑

30年度以降の指定管理者の公募を行う。

在宅介護

問 ケアマネジャーの資質向上はどのようにしているか。

答 ケアマネジャー連絡会において、認知症支援における問題点や対応について協議し、介護者の負担軽減も図るよう周知する。

滝宮認定こども園（仮称）整備事業基本計画

（株）内藤建築事務所より、資料を基に滝宮認定こども

園（仮称）整備事業基本計画について説明を受けた。基本計画方針、①子どもが健やかに成長できる施設、②保護者が利用しやすい施設、③子育て支援及び地域交流の拠点となる施設、④多用途に活用できる施設、⑤安全・安心で環境にやさしい施設、⑥緑豊かな施設、の6項目について計画方針、指針等を設定し計画を進めている。

その他

- ①綾川町地域包括支援センターの運営
- ②後期高齢者医療保険料及び、国民健康保険税における軽減判定の調査結果
- ③平成29年度後期高齢者医療制度改正の影響額
- ④日帰り人間ドックの申し込み状況
- ⑤第5期障害者福祉計画及び第7期介護保険事業計画
- ⑥臨時福祉給付金についての状況

建設経済委員会

繰越明許書繰越計算書

経済課

「単県土地改良事業」は打田池地区水路改修工事及び大谷池改修工事関係で、前者は地元調整に不測の日数を要したため、後者は堤体基礎基盤が軟弱であったため地盤改良が必要になり、年度内完了が見込めなくなったもので、5月11日に竣工検査を実施し、完了。

また「県営土地改良事業」は、国の景気対策を受けて3月補正したものであり、「地域ため池総合整備事業」で、3カ所のため池工事、また「県営かんがい排水事業」により、萱原用水地区の工事を行った。完了は年度内を予定。

建設課

「町道整備事業」は町道萱原上陶畑線及び町道綾川駅前線の2路線であり、他事業及び関係機関並びに地元調整に不測の日数を要したため繰り越した。いずれの路線も5月12日竣工、5

月22日竣工検査を実施し完了。「急傾斜地崩壊防止対策事業」は、羽床上の西蓮地区が、地元関係者及び関係機関との対策工法の調整、検討に不測の日数を要したため繰り越した。6月9日に竣工し、今後、竣工検査を行う予定。

平成28年度(株)綾南フラザ決算及び平成29年度(株)綾南フラザ事業計画及び予算

定時株主総会議案書を基に報告があった。

問 今年2月に労働基準監督署から職員の勤務状況の指摘を受けて、レストラン部門が3月から週4日営業となり、6月からは休業している状況だが、もっと早目に対処すべきではなかったのか。休業ということは、うどん発祥の地として「うどん会館」を建設した当初の目的が失われていることになる。
答 今後の見通しについて、どのように考えているのか。

答 「うどん会館」は20年の節目を迎え、時代の変遷に伴って、来客のニーズに合った経営改革が必要だと



経営改革が必要な「道の駅 滝宮」

答 道の駅滝宮の施設管理業務費が3月に合算になっている。天井の高さやレイアウトについては、今後、十分協議する。

平成28年度(有)綾歌南部農業振興公社決算及び平成29年度(有)綾歌南部農業振興公社事業計画及び予算

定時株主総会議案書を基に報告があったが、委員より特に質問もなく、承認。

その他

●綾川町移住・定住促進住宅改修工事

5月25日に、入居者に対する地元説明会を開催した後、工事に着手。現在は現場事務所、仮囲いの設置を終え、枠組足場の組立ての途上にある。

●綾川町都市計画地域地区指定

4月23日に開催した「住民説明会の概要」と「今後の法手続きに関するスケジュール」について説明があった。県知事同意を得られた後の「都市計画の決定の告示」については、「告示のあつ

問 売上高実績の屋外販売・自販機売上げの部分で、3月が多いのはなぜか。また、建物の天井が低いことや、何がどこにあるか分かりにくいので、対策が必要ではないか。

「た日からその効力が生ずる」ことから、住民周知の期間も考慮し、県との協議の上でその告示日を定めたい。

問 用途地域を指定すると変更できないのか。

答 用途地域は、既存の建物や農地の現状での利用において特別に何かが変わるものではなく、今後建築される建物の使用目的に対する新たなルールを定めるものである。但し、用途地域の指定後は、農業振興地域の区域外となるため、農業投資に関する制度については、今後検討していく必要があると考えている。

●汚水処理人口普及率等

平成28年度末現在の生活排水処理施設（下水道、浄化槽、農業集落排水）の普及率は75・2%、下水道水洗化率は79%である。併せて、本年度の浄化槽設置整備事業の進捗状況について報告があった。

問 水洗化率等は、空き家も含めて算出するのか。

答 分母については、住民

基本台帳の総人口、総世帯数を基に按分し、下水道区域の人口世帯数を算出している。分子については、上下水道の使用世帯数を基に算出していることから、概ね実態を反映した数値であると考えている。

●香川県広域水道事業

平成30年4月からの県及び8市8町による広域化の基本的事項をまとめた水道事業等の統合に関する基本協定書（案）と企業団運営と事業経営の指針となる香川県水道広域化基本計画（案）、今後のスケジュールについて報告があった。

学校等再編整備調査特別委員会

綾上小学卒業生の進学状況

問 綾上小学を卒業して他の中学校へ進学した児童は何人いるのか。

答 今年度は、綾南中学校へ4人、私立中学校へ4人、転出により高松市内の公立中学校へ1人進学している。

問 それ以前の綾上小学から綾南中学校への進学状況はどうであったか。

答 毎年0〜1名、多いときで2名。綾上中学校に無い部活動をしたという理由で、綾南中学校への進学があった。

問 校区外進学の許可条件はどうなっているのか。

答 特例的にいじめや部活動等を理由にしたものがある。

部活動については、今年度より、中学校入学直前まで2年以上継続して活動していた場合に限るという条件を追加している。証明書を提出してもらうことで許可することになる。

問 校区制は住所で決まっているのか。

答 公立中学校については、住民登録に基づき指定学校が決定される。



井上博道議員



子ども見守り隊による交通安全指導

児童の登下校と地域の見守りの 在り方を問う

子ども見守り活動を通して、児童の安心安全の確保に努めたい

問 今年の3月、千葉県で痛ましい事件が発生した。地域活動が萎縮したり、人・大人を信じられない社会などあってはならない。教育の町「綾川町」の明日を担う児童の登下校と地域の見守りの在り方についての本町の考えを問う。

答 組織的ボランティアによる登下校の見守り活動をしているのは昭和小学校と羽床小学校である。本町では、少年育成補導員や保護者を中心に、子ども見守り隊スッカーの車貼付等による地域全体での子ども見守り活動を昨年度から実施している。

今後も、この活動を通して不審者の出現を防止し、児童の安心安全の確保に努めたい。不審者出現等の、犯罪が起りやすい危険な場所がわかる地域別安全マップの作成等については研究課題としたい。引き続き、地域ボランティアの主体的な活動を支援したい。

有事における地方行政の対応の 在り方を問う

国、県と連携しながら慎重に検討したい

問 北朝鮮の暴走は留まる所を知らず、日本にいつミサイルが飛来してくるかわからない、危険な状況が続いている。屋内外での避難訓練実施を含め、有事における地方行政の対応の在り方についての本町の考えを問う。

答 ミサイル落下の際は、住民には頑丈な建物に避難する等の対応を取ってもらう他はないと考える。有事の際は、本町は綾川町国民保護計画に基づいて行動する。非常時のノウハウ蓄積については、綾川町地域防災計画における水防や大規模地震へ

の対策が応用できるものと考ええる。今後も防災訓練等を通じて、住民の役に立つ訓練メニューを考案していく。ミサイル落下に関する情報伝達は国防に関することなので、国、県と連携しながら慎重に検討したい。



訓練に励む消防団員



田辺健次議員

消防団員出動の在り方は

火災出動無線放送は、今後検討したい

問 綾南・綾上、2町が合併し11年目に入った。

しかし、それぞれの分団出動の在り方については、合併前の出動態勢が継続されており、住民から不自然に思われている。無線放送では、火災発生場所により綾南地区または綾上地区の消防団員の出動を、と放送している。火災は一刻を争い、さらに最短で現場に到着することで、人命救助、財産を最小限の被害で鎮火することができる。

出動のあり方を合併前の出動態勢から、地域の隣接した校区での出動体制にすることで、火災現場への到着時間が短縮できるのでは。また近年団員数が減少傾向にある。可能な限り地元在住で、農業、商工業従事者等の団員を確保

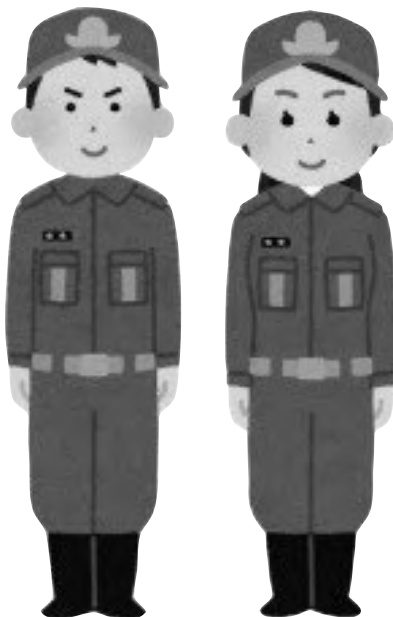
し、綾川町消防団の発展に。

答

出動体制については、地区分けで、出動がかかっていない分団においても、近隣火災の場合、応援に出ることとしており、合併して10年になるが、分団間の連携もスムーズにできている。現在、火災出動については、団員各

自にメール送信しており、防災行政無線で火災の出動すること自体が適正かどうかも今後検討していきたい。

消防団員の確保については、本町においては、地元企業等のご理解ご協力などにより、消防団応援制度の充実などを図りながら団員の確保に努める。





小学校の和式トイレ



安藤利光議員

学校での洋式トイレの改修は

平成31年度から順次整備

問

香川県の小中学校のトイレの洋式化は、平成28年度調査では41%と全国平均を下回っている。しかし、家庭ではほとんど洋式トイレになっている。学校では、子どもから「和式トイレは使いづらい」等の声も出ている。

答

学校等は、緊急時に避難所になる。改修は、小中学校のトイレは洋便器が174器、和便器が146器で、洋式化率は59・3%である。綾南中学校は全て洋式化されており、綾上小学校

答

は体育館、屋外トイレで和便器が残っている。また、その他の学校ではまだまだ普及していない。教育委員会は、綾川町第3次5ヵ年計画で平成30年度実施設計、平成31年度から順次整備を予定している。

移動手段が限られた高齢者への対応は

10月から70歳以上ことでん運賃半額

問

高齢者の事故が大半を占めており、交通事故対策が急がれている。町では、平成23年度から、運転免許証自主返納者には自動車に代わる制度として、町営バス、デマンドタクシーの無料化、そして平成29年度からことでん運賃半額制度がスタートする。しかし高齢者の方は、運転免許証を返納すると買い物に行けなくなり困ると言っている。町は、善通寺市のように、シルバー人材センターによる

車の食糧品移動販売をしてはどうか。そうすれば、運転免許証返納者も増え、交通事故防止にも繋がっていくと思うが。

答

町は、交通事故防止の観点から、平成23年度より運転免許証自主返納支援事業として、町営バス、デマンドタクシーの無料化を行っている。

また、今年10月から高齢者公共交通運賃半額「ゴールドイ

運転免許証自主返納者のさらなる利便性向上に努めたい。一方、買い物弱者に対する支援は、町社会福祉協議会で、「無料買い物送迎サービス事業」として、生きがいデイサービスを利用して希望者には、町内のスーパー・商店まで、週1回の買い物支援をしている。また、町内の一部の地域で、民間業者による移動スーパーが巡回している。今後、買い物支援等について十分研究していく。



空き家の利活用は



福家利智子 議員

空き家対策は

空き家対策協議会を7月に設置

問 空き家となる前の対策が重要である。そのため、町に気軽に相談できる窓口を設けること、そして、行政、不動産業者、建築業者や他の関係機関と連携することで、相談者の将来の不安をより一層払拭できる。また、町も空き家となる前の段階で情報収集ができ、今後の空き家

答 今後、総務課管理の空き家台帳をデータベースとして、空き家の所有者、管理者に対する意向調査などを進めながら、対策について関係各課の連携を図りながら検討していく。

対策に生かせるメリットにつながる。対策は。

同時に、空き家対策協議会を7月に設置し、12月を目途に空き家対策計画を策定する。「空き家となる前の相談窓口」も含め、空き家の利活用や除去などの具体的な施策についても、今後、研究していきたい。

災害時における「トイレ」確保は

町全域の避難者分を配備

問 熊本地震直後に内閣府が避難所におけるトイレの確保、管理ガイドラインを公表し、また国交省もマンホールトイレのガイドラインを作った。町では、特に災害用トイレはどのように計画しているのか。

答 マンホールトイレを設置した場合、震災で下水管が破損したときに使用できないことや、普段の保管場所を考える必要があることから、今後の検討が必要である。町で購入を予定しているのは、便器に蓄便袋をかぶせ、排泄後に、消臭剤を兼ねた凝固剤を振りかけ、袋の口を閉じて

結束バンドで縛るものである。これを、町内8つの公民館を中心に配備する予定である。配備する数量については、1日5回の使用で3日間継続して使用できることが理想と考えている。想定される綾川町全域の避難者分を配備していく予定である。



岡田 芳正 議員



滝宮天満宮・学問の神様（菅原道真公）

教育の町、綾川町の町長としての 総仕上げは

農業大学の誘致を成功させたい

問

マスコミのインタビューにて、町長は琴平町の農業大学校を綾川町に移転誘致を行う旨の足掛かりを作りたいと言葉を発信しているが、どのような考えで押し進めるのか、その可能性を問う。

答

わが町はまさしく教育の町である。将来、琴平にある農業大学校を綾川町に誘致しようということである。これを成功させることにより農業試験場、農業大学校、農業経営高校と、地域農

業の学問的な発展をさせられると考えられ、このことでわが町が教育の町であることを主張できると思っており、是非、成功させたいと思う。

町長としての総仕上げを 引き続き推進して行くのか

今後の行政運営について熟慮し、判断する

問

一部のマスコミ報道によると、町長として、今期限りのような引退を示唆ともとりざたされている。町長として、道の駅滝宮、うどん会館、商業施設イオンモール綾川の誘致、新駅琴電

綾川駅の開駅、農業施策も色々と実施され町に貢献されているのは誰もが知る事実である。その真意を問う。

答

町長としての総仕上げを引き続き推進してい

くかどうかであるが、今後の行政運営について熟慮し、自ら適当な時期に判断し、見解を述べたい。



スポーツ自転車「ロードバイク」



大野直樹議員

サイクリングツーリズムを 観光のツールとして導入できないか

効果的にPRできる方法を検討する

問

サイクリングは、最近の健康ブームの後押しやファッション性の豊かさから、老若男女誰もが楽しめるスポーツである。

海を見ながら走り、山道を登り、地元の特産物を食べたりと、楽しみ方も様々である。休憩や食事ができる場所等、情報を発信することにより、サイクリングを楽しむ人々に綾川町に「来る・楽しむ」きっかけをつくる事ができると考える。

また、ロードバイクにはスタンドが無い自転車が多いため、各観光名所に自転車用のスタンドを設置することで立ち寄りやすい場所になると考えるが、スタンド設置についてはどのような考えか。

道路の整備

ロードバイクのタイヤは細く、少しの段差でも車体や体に感じるショックは大きい。また、町内の中学生や自転車利用者にとっても同じである。今後、道路の整備についてはどのような考えか。

観光PRと地元活性化のためのサイクリング大会

イベントの規模の大小もあるが、魅力を発信し綾川町を広くPRするためにも、サイクリングイベントを検討してみてもどうか。

答

サイクルロードレースは、非常に人気の高いスポーツである。近年愛好家が増加しており、町内においても、ロードバイクに乗ってサイクリングを楽しむ方をよく見かけるようになった。

現在、ロードバイク用のスタンドは、町内で設置している観光施設はないが、道の駅滝宮において設置等を検討していく。また、町内の他の観光名所についても調査していく。

道路整備についても研究課題と考えている。

かつては綾山湖（田万ダム）においてサイクルロードレースが開催されていた。今後、効果的にPRができる方法を研究していく。





川崎 泰史議員



町の創業支援事業を利用し、営業しているカレー屋さん

綾川町の創業支援は

国の事業見直しを考慮して研究課題としたい

問 綾川町で想定している創業支援事業は。

答 「綾川町創業支援事業」で、個人及び法人が町内で事業を開始する場合に補助対象経費の50%以内で100万円を上限として補助される。

「綾川町中小企業融資制度」では、起業したとき2カ月据え置き70カ月元利均等分割払いの融資が受けられる。

また「綾川町中小企業振興資金利子補給」は、融資金未償還元金に対し年1%以内の利子補給制度。

「綾川町企業誘致条例」では、企業の誘致事業として固定資産税の優遇が受けられる。

問 新規の創業支援事業の検討は。第2次総合振興計画に記載されている創業支援の考え方の検討は。

答 現在は新規事業は考えていない。第2次総合振興計画に記載されている創業支援は他町の状況等、研究して今後考えたい。

問 綾川町は国の創業支援リットがあるか。

答 相談事業である「創業者支援事業」の件費や専門家謝金等が補助対象となる。平成28年度の実績は四国管内で2件。

起業者の初期投資費用を市町村が補助する場合、町の補助額の50%が国に交付税処置される。ただし対象事業採択のハードルが極めて高い。

ほかに、法人設立時の登録免許税が約半分になる減免制度がある。

問 産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画の認定を受けるのか。

答 国は平成30年3月までに事業を見直す予定で、それを考慮して、今後の研究課題としたい。





生育著しい樹木



三好重徳議員

公道の安全確保を

効果的・効率的な手法の検討を行う

草木が大きく成長する季節となり、各種公道沿いの草木が徒歩、自転車、自動車の通行に影響を及ぼす所も見られる。中学生の中には、危険だからという理由で迂回して通学している生徒もいるようである。また公道に大きく張り出した木によって、自動車がセンターラインを越えざるを得ない所もある。

県道282号線沿いは特に古くから発展しており、早くから開発がなされてきた。そのため歩道の整備等が難しく、より一層、安全確保に向けた取り組みが必要であると考ええる。

住民からの情報提供による本町の対応

問 住民から危険箇所についての情報提供はどのくらいあるのか。また、情報提供があった場合、町はどのように対応しているのか。

答 過去3年間においては、国道・県道が合わせて12件、町道が10件あった。関

係課職員が現地調査を行い、国道・県道の場合は道路管理者に対応を依頼し、町道の場合は町が所有者等を特定し速やかな草木の除去を求めている。

問 所有者確認をスムーズに行うためにも、土地の相続手続きの啓発に取り組み必要がある。町としてはどのように考えているのか。

答 全庁的なことで、土地相続手続き推進は非常に重要であると考ええる。

公道管理者の責任

問 交通事故が起き、公道に大きく出ている草木が事故の一因であると認められた場合、その責任についてどう考えているのか。

答 道路法42条において、交通に支障を及ぼすおそれのある行為は禁止されている。したがって、まず土地所有者等に責任があると考え

また、同法43条において、道路管理者の維持・修繕義務が定められており、責任を問われる場合があると考ええる。

問 土地所有者等に草木の切除を求めても応じてくれない場合、本町はどう対応しているのか。

答 土地所有者等の承諾を得た上で、やむを得ず道路管理者が切除している。

町としての安全性の確認

問 提案として、交通量が多い所を中心に、枝葉が伸びるこの時期に年一回、公道の安全性確認をしてはどうか。

答 効果的・効率的な手法であるかも含め研究し、道路管理者として、今後も公道の安全確保に努める。



主基齋田お田植まつり (6月18日)

山田上の主基齋田跡地にて、小谷悠紀齋田保存会長ら会員多数を迎えて、主基齋田お田植まつりが行われた。綾上小学校の児童が苗を渡し、県立農業経営高校の生徒が早乙女姿でお田植えを行った。



ゆき 悠紀齋田お田植えまつり (6月4日)

愛知県岡崎市六ツ美の悠紀齋田記念田にて、悠紀齋田お田植えまつりが盛大に行われた。交流を深めるため、主基齋田保存会からも毎年参加している。今年は前田副町長ら33人が出席し、古式ゆかしい大正時代のお田植え風景を觀賞し、両齋田の友好の輪を深めた。

議会広報編集委員会
 委員長 安藤 利光
 副委員長 三好 重徳
 委員 大野 直樹
 委員 岡田 芳正
 委員 井上 博道
 委員 田辺 健次



我々編集委員も魅力ある議会広報誌作りに邁進してまいります。
 町民の皆様には、より一層のご愛読をお願いいたします。

編集後記

主基齋田お田植まつりも厳粛のなかにも厳かに終わり、綾川郷の水田にも苗の絨毯が一面に敷き詰められ、農家は一段落しました。昔は半夏のうどんに舌鼓を打ち、労をねぎらいました。後は、実り多い秋を待つだけとなりました。